

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【善前小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 算数の基礎的・基本的な計算力に大きな課題がある。 <指導上の課題> 基礎的・基本的な計算の定着を図れるように、反復練習する時間の設定が不十分である。	⇒ 朝学習となる週一度の「基礎・基本」の時間で、「ドリルパーク」等を活用し、既習の基礎的・基本的な計算問題を全学年で重点的かつ継続的に取り組む。【通年・月に2～3回程度】 また、「書き込み式ドリル」を活用し、家庭学習においても基礎的・基本的な計算問題を全学年で重点的かつ継続的に取り組む。【通年・週に2回程度】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 相手や目的に応じて敬体と俗体を使い分けたり、どのような図表を用いれば効果的かを考えたりすることに課題がある。そして、個人差が大きくなる。 <指導上の課題> 相手や目的を意識して考えを書いたり、グラフや表などの資料を活用して自身の意見を書いたりする時間の設定が不十分である。	⇒ カリキュラムデザインマップを活用しながら、全学年において教科横断的な視点を大切に、グラフや表などの資料を活用しながら自分の考えをまとめたり、相手や目的を常に意識しながら自身の意見や考え、思いなどを書いたりする学習を充実させる。【通年・週に2回程度】 さらに、書いたり、一人一台端末で打ち込んだりした文章を自分で推敲し、その後仲間と見合う活動も積極的に設定する。【通年・月に2回程度】

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	国語では、漢字を文中で正しく使うこと、算数では、数直線上に示された数を分数にしたり、はかりの目盛りを正しく読みとることに課題が残った。そして、理科では、金属の性質や顕微鏡の操作に関する理解に課題がある児童がみられた。習得した知識・技能の活用や、深い理解を伴う知識の習得ができていないことが考えられる。	
思考・判断・表現	国語の「読むこと」領域において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる問題で、課題がみられた。さらに、無解答率も高かった。また、図形の面積の求め方を式や言葉を用いて記述する算数の問題や、差異点や共通点を基に新たな問題を見出し表現する理科の問題においても、大きな課題がみられた。引き続き、グラフや表などの資料を活用しながら自分の考えをまとめたり、相手や目的を常に意識しながら実際に自身の意見や考え、思いなどを書いたりする等といった、教科同士の関連を意識した授業を日々、展開していく必要がある。	

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能	B	朝学習となる週一度の「基礎・基本」の時間や家庭学習の中で、「ドリルパーク」や計算ドリルを活用して、継続的に、既習の基礎的・基本的な計算問題に取り組むことができた。さらに、計算ドリルに書き込みをして、計算問題の反復練習にも力を入れることができた。
思考・判断・表現	B	各教科で、グラフや表などの資料を活用しながら自分の考えをまとめたり、相手や目的を常に意識しながら自身の意見や考え、思いなどを書いたり、学習端末で打ち込んだりした文章を自分で推敲し、その後仲間と見合う活動も多くの学年・学級で設定することができた。

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)